

輝く女性の活躍を加速するために

本県では、性別にかかわらず、誰もが自分の意欲や能力を最大限に発揮し、いきいきと活躍できる「日本一暮らしやすい埼玉」づくりに取り組んでおります。

とりわけ、「共生社会プロジェクト」に位置付けている女性活躍の推進は、その重要なメルクマールの一つだと考えています。

本県における女性活躍を加速していくために、まずは、県庁ワンチームで女性活躍を「自分事」として、しっかりと取り組んでいく必要があることから、様々な取組を進めております。

令和2年度には、私から全職員へメッセージという形で思いを伝え、これを受け止めた県庁の全部局長が、女性活躍に向けた「働きやすい職場づくり宣言」の取組を実施しました。加えて、メンター制度の試行的実施やWEBによる女性職員向けの政経塾を開催しました。

令和3年度の人事異動では、例えば、暗黙のうちに男女の役割分担の意識があったのではないかという視点から、これまでの「殻」を打ち破る人事配置を行い、随行秘書業務や人事部門管理職への女性登用を初めて行ったところです。

今後、ジェンダー・ギャップの解消のため全職員への「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み・偏見）」に関する意識調査と研修を実施するほか、女性の視点を施策事業へ盛り込んでいく県庁内「アドバイザー・ユニット」制度を実施してまいります。

さらに、こうした取組を県内市町村等とも共有していきたいと考えています。

このたび、内閣府が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会・行動宣言」に賛同いたしました。

女性活躍が正にポストコロナの新しい日常となりますよう、尽力してまいります。

令和3年8月26日

埼玉県知事 大野 元裕